



こうまだより

第656号
令和8年2月27日

園長 高麗 正夫

おひなさま

昔、昔、まだ医者や薬のない時代。子どもが病気になると、親は祈って治すしかなかった。また、祈るだけでなく、わらで人形を作り、子どもの病気を移して、わら人形が子どもの身代わりになった。わらの人形は川に流され、病気が治ることを願った。当時人の寿命は30歳くらいで短命であった。子どもは病気になると死亡する確率が高く大勢の子どもを産んだのだろう。

時代が変わり、わら人形から紙で作った人形へ、更に江戸時代になりきれいな着物を着せて今のようなひな人形となっていった。

昭和20年の戦後の人の寿命は50歳くらいでした。50歳という歳は孫の顔を見て亡くなる歳でもある。現在女性の寿命は87歳、男性の寿命は81歳まで伸びてきた。

ひな人形の由来も子どもの身代わりひなから、子どもの健やかな成長を願うおひなさまとなってきた。

私の兄妹は3人ですが、実際には、2歳年上の姉がいた。姉は産まれてすぐ亡くなった。今の医学であれば生きていたかもしれません。産まれてすぐ亡くなったため、名前も戸籍もない。最近医療が発達したため、昔は亡くなった赤ちゃんがすくすくと成長している。少しずつでもいいので、赤ちゃんが増えることで、少子化が減少してくれることを願っている。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言われる通り、あっという間に3学期が終了してしまう。

3月17日（火）は終業式、3月18日（水）は卒園式です。どんなことをしたら、幼稚園での思い出になるか、年長として考えるよい機会にもなっている。

出会いがあれば、必ず別れがある。

別れてまた新しい出会いがある。

出会いと別れは、人生の節目。この節目を乗り越えることにより、ひとは成長していきます。

保護者の皆様へ

※令和8年4月1日以降に新たに2号認定になる予定の方は、板橋区に所定の書類提出が必要です。
年度の途中で2号に切り替える方も、その都度お申し出ください。

※創立50周年記念樹の植樹を2月27日（金）10：00から、泰山木を植えます。
年長の子どもたちのみ参加します。